

1学期を振り返って

3年生のスタートである4月は、自宅待機からでした。緊急事態になつて、最初は私自身、気分がふわふわしていました。しかし、休校が長引けば長引くほど、友達に無性に会いたくなり、部活がしたくなり、学校にとても行きたいになりました。学校が再開したときは、友達に会えるうれしさと、受験への不安が半分ずつありました。

中学最後のクラス替え。昨年が何となく終わつたから、3年生になる実感があまりないままでした。でも学年委員に立候補することは決めていました。中学生最後のクラスで、みんなが楽しかったな、いいクラスだったな、と思えるようにしたい、受験に向けてお互いに高めあい、協力できるクラスにしたい、という思いからでした。

こんな状態だから、みんな気持ちが緩んでいるだろうと思つていました。予想通り、昨年より時計を見て行動している人が少なくなつていきました。私がしつかり声かけをすれば、みんな動いてくれます。でも3年生はそれではダメだと思います。自分たちで時計を見て行動するのを当たり前にしないといけません。

中学最後の部活動。今年の総体のために、今まで必死に練習してきたのに、それがなくなつたと聞いたときは、もうなんのために練習するのか分からなくなつたほどです。阪神や県大会にも進めない、団体戦もない、仲間の応援も出来なければ、応援もしてもらえないのはすごくショックでした。

そんな中、市内大会が決まりました。ニュースでは野球の甲子園での試合が決まって、高校球児が喜んでいるニュースもありましたが、私も同じくらいうれしかつたです。3年生8人で出る最後の公式試合。中学生最後の公式試合だから良い結果を残したい、勝ちたい、頑張ろうという気持ちが出てきました。結果は自分の納得のいく順位ではありませんでした。正直、悔しい思いも残りました。でもすごく楽しめました。今までの試合では、点差が開いてしまつたら、諦めてしまうことがありましたが、今回は自分が今までやつてきたことを最後まで出そうと思い、諦めず頑張つたからです。最後にみんなで笑顔で終わって本当に良かったです。バトミントン部に入つて良かった。この8人でよかったです。心からそう思いました。そういう機会を設けてくださつた先生やすべての人々に感謝したいです。

今年は、学習発表会も体育大会も修学旅行もなくなつたので、思い出が出来るのかがとても心配でした。でも先生たちがいろいろと教えてくれました。文化部や体育の発表会、学年レクなど、一つ一つを全力で楽しんで、みんなで良い思い出を作りたいです。3年生は、限られた時間で女子はダンス、男子は空手を、お互いに協力しながら完成させていくよう、学校生活も一日一日を自分たちで協力して大切に過ごしていきたいです。実力テストや受験勉強、それが好きな人は少ないと思うけど、悔いなく終わることで良い思い出になつていくと思います。

周りの環境のせいにするのではなく、色々なことが出来ることに感謝し、全員が最高学年で受験生だという自覚を、もつと持つべきだと思います。

まずは高校進学に向けて提出物を出し、服装を整える。時間を見て行動するなど、ひとり人が出来る当たり前のことを私も含めて全員がいつも出来るようにする。自立にむけて、頑張る姿を後輩に伝えていきたいです。2学期もがんばりましょう！

ひしと

三年生代表 中村美月

自信を持つて、堂々と、立ち直りて。